



2023年1月20日

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
代表者名 代表取締役社長 能美 裕一
(コード番号: 3267 東証プライム)
問合せ先 取締役経営管理本部長 西村 洋介
(TEL: 03-6264-1100)

フィル・カンパニーグループ「サステナビリティ宣言」の策定に関するお知らせ

当社グループは「サステナビリティ宣言」を策定し、2023年1月20日開催の取締役会において決議しましたのでお知らせします。

記

1. サステナビリティ宣言策定の目的

当社グループは、「共存共栄 (=Phil)」の企業理念の下、社会課題である「未活性空間の増加」に対して、「空中店舗フィル・パーク」及びガレージ付賃貸住宅「プレミアムガレージハウス」など空間ソリューション事業を提供してきました。今後、事業を通じた社会課題の解決と持続的な企業価値向上を高次に両立するべく、サステナビリティ宣言を策定し、サステナビリティに関する活動をグループ全体で推進していく上での指針としました。

また、サステナビリティ基本方針及びサステナブル事業モデルの策定や、当社グループのマテリアリティ（重点課題）を特定することで、サステナビリティに対する考えや事業価値を明確にしました。

2. サステナビリティ宣言とサステナビリティ基本方針

フィル・カンパニーグループ サステナビリティ宣言

世界中の「むずかしい土地」をゼロに。

～「むずかしい土地」を生まれ変わらせ、世界を良くしていく取り組みについて～

世界中から「むずかしい土地」をなくしたい。

フィル・カンパニーグループは、本気でそう考えています。

「少し駅から遠い」「土地の形が使いにくい」などの理由から人の流れが少なく、活用がむずかしいために手つかずになり、賑わいや光を失ってしまっている場所。

そんな場所を私たちは「むずかしい土地」と位置づけ

これまでに数多くよみがえらせながら人々の活気やよろこびが途絶えることのない住み続けられるまちづくりに貢献し続けてきました。

環境に配慮しながらまちの課題を解決し

地域に持続的な賑わいと灯を創り出すという

「むずかしい土地の再生」を繰り返す。

その再生の循環がひと・まち・社会を活性化させ続け

やがて世界の未来を変えていく大きなうねりになる。

そんな信念と情熱、そして私たちの使命を表すフィル・カンパニーグループのサステナビリティ宣言です。

サステナビリティ基本方針

フィル・カンパニーグループは、創業当初から **SPACE ON DEMAND**（今の世の中の需要に合った空間づくり）をコンセプトとして、社会課題である「未活性空間の増加」に対して様々な事業を展開してきました。

今一度、社会課題に対する当社の事業価値を明確化するため、**ESG** 経営を推進し、持続可能な街づくりの実現に向けてステークホルダーの皆様と共に取り組んでまいります。

3. サステナブル事業モデルとマテリアリティ（重点課題）

サステナビリティ基本方針やマテリアリティを踏まえた 5 つの重点取り組みテーマは、以下の通りです。

- ① **SPACE ON DEMAND** に基づくサーキュラーな街づくりの推進
- ② デザイン性や経営支援、動線を考慮した設計など、中小企業が活躍できる環境づくり
- ③ 建物の省エネルギー化、**GHG** 排出量削減に向けた取り組み、エネルギー関連投資の推進
- ④ 事業経営人材の育成とジェンダーレスな職場づくり
- ⑤ コンプライアンス、金融・不動産市場変動への対応

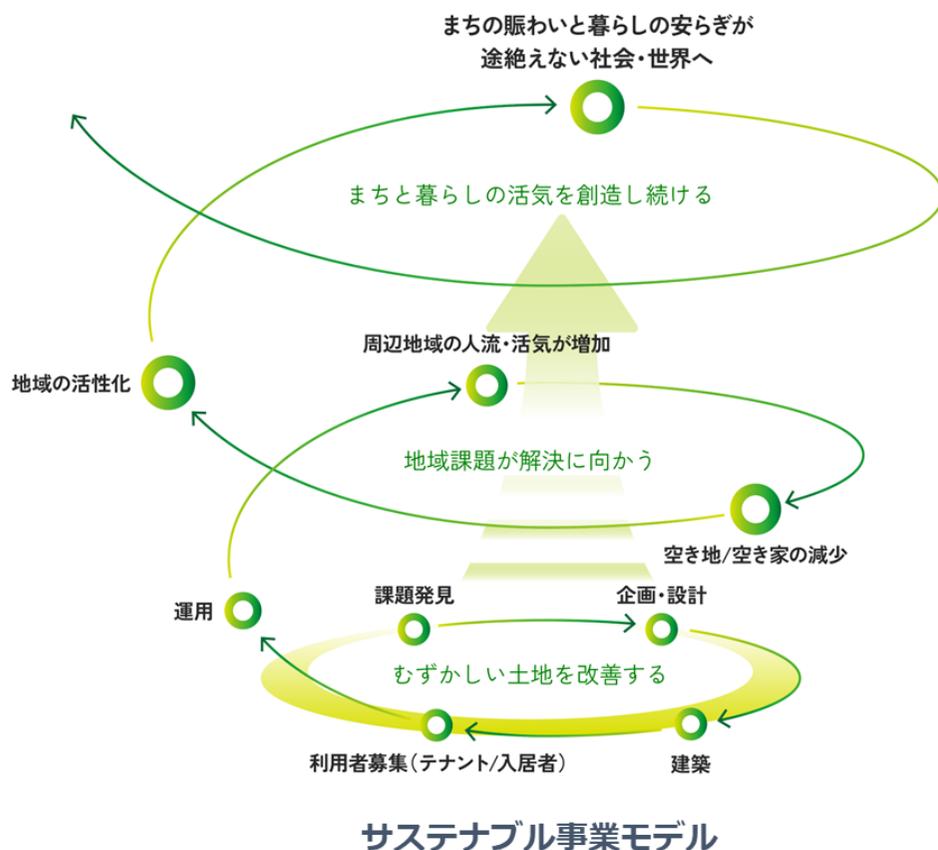
サステナブル事業モデル及びマテリアリティの特定については、次頁の添付資料をご参照ください。

なお、当社コーポレートサイトにサステナビリティの項目を新設及び公開しているため、以下ご参照ください。

URL : <https://philcompany.jp/>（コーポレートサイト）

以 上

その時代・社会・地域に合った空間の企画・創造を通して 「未活性空間の増加」を解決し、まちと暮らしに持続可能な活性化をもたらします



Step.1 社会課題の抽出と検討	広く社会課題やESGに関する動向を踏まえた上で、環境、社会、経済などにおける課題を抽出
Step.2 重要性の評価	ステークホルダーの皆さま、当社の経営に与える影響などの観点から社会課題について重要性を評価し、優先順位を検討
Step.3 重要性(マテリアリティ)の特定	当社にとっての重要性、ステークホルダーにとっての重要性(社会からの期待)の2軸で重要課題を検討、特定
Step.4 サステナビリティ委員会および経営レベルでの検討と承認	当社のサステナビリティ委員会で検討した上で経営レベルでの検討と承認

